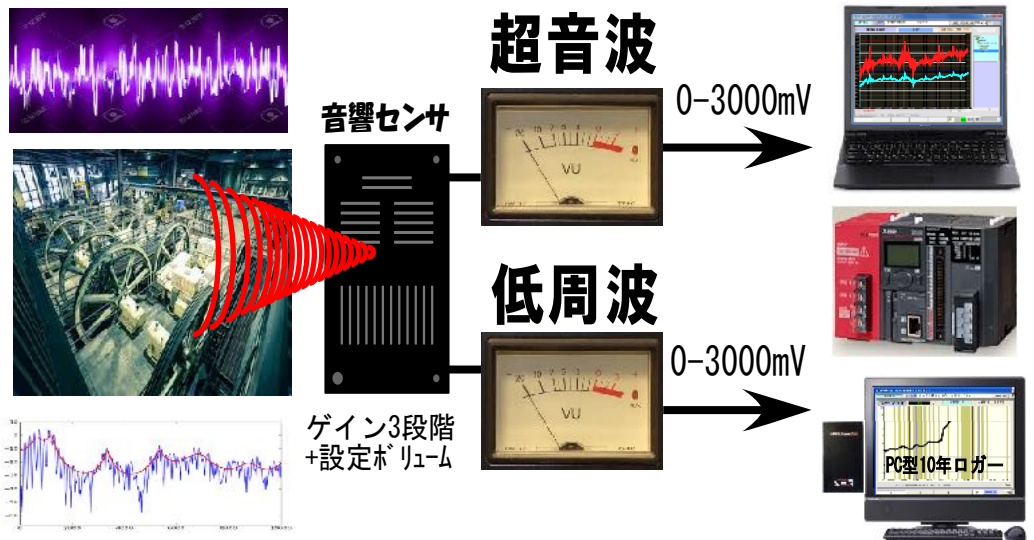


音響センサ

音(振動)の「見える化」

2種類のセンサを一体化した音響センサです。使い方は監視する機械、もしくは機械の周辺にマグネットで取り付けるだけです。センサの電圧出力をシーケンサやパソコンに取り込み長期間ロギングしながら人間の五感のひとつとして計測監視するものです。



音響の異常で大事故の前の早めのメンテナンス

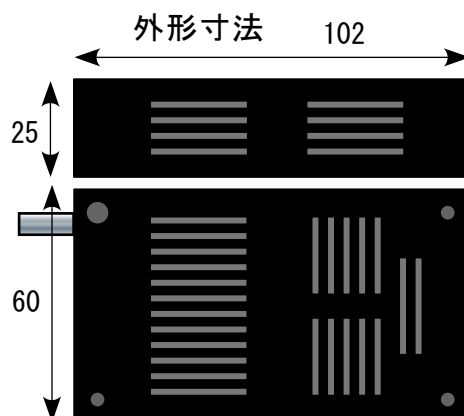


音の見える化

音響センサ

構成は低周波(10Hz～)と超音波(～30kHz)の2種類のセンサを内蔵したセンサーユニットです。各センサーはそれぞれ0-3Vのアナログ電圧での出力が可能です。

電源電圧	3.3V (3.13～3.63V)
消費電流	約45mA
アナログ出力電圧	0～3V
使用周囲温度	-30～60℃(結露なきこと)
警報出力(オプション)	オープンコレクタ MAX 100mA/30V
超音波センサ	3kHz～30kHz 120dB / 90dB / 60dB
音響センサ	10Hz～3kHz 120dB / 90dB / 60dB
コネクタ	JST:XHP-12/SXH-001T-P0.6
外形寸法	102.0×60.0×25.0 mm
重量(ケース材質)	約210g(鉄) ※ハーネス除く



経年変化が分かる

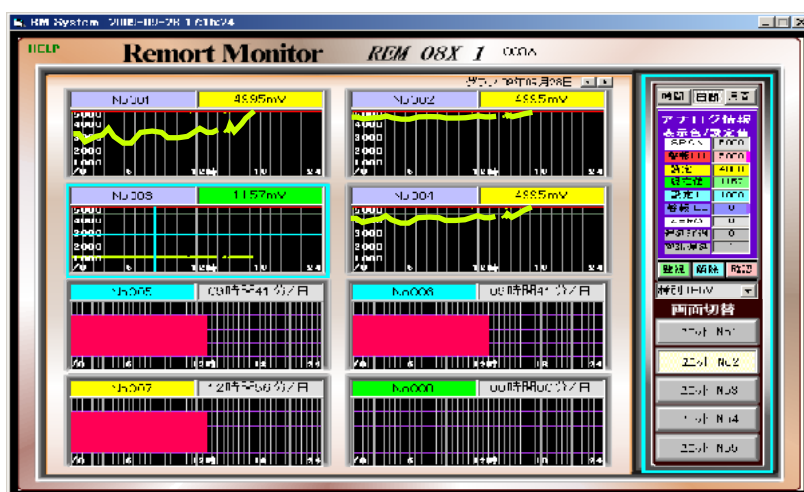
10年ロガー

音響センサはその出力をシーケンで処理することも可能ですがこのロガーはセンサ情報を複数のマルチグラフで10年間計測ロギングするフレキシブルなモニタソフトです。

瞬時の閃き！
劣化、異常の「見える化」
をアシスト



マルチグラフモニタ MGM16L



マルチグラフモニタMGM16L仕様

信号種別	
接点系信号 4点	監視、制御、状態表示、グラフ表示
アナログ系信号 4点 (パルス系信号入力)	計測、警報設定、監視、数値表示、グラフ 積算、集計表示、グラフ表示
データ保存	CSVファイル日報、月報、年報、グラフデータ
警報設定	
接点系信号	ON-OFF監視、保持-非保持 A接-B接切替
アナログ系信号	LL L H HH 設定監視 時間遅延設定
警報出力	代表警報、保持-非保持

ラインナップには省配線多重伝送のユニバーサルラインを利用した最大2000点の多点の計測監視ができるソフト(MGM16W)も有ります。

豊中計装株式会社

大阪 06-6336-1690 東京 03-6403-9822

大阪〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-13
東京〒102-0083 東京都千代田区二番町9-4 THE BASE 麹町 2F